

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質 問	回 答
1	要件定義書 P21 「4.15.4.1.ログ出力・蓄積・監視要件」 要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	ログ保管期間について左記ドキュメント間で差異がございますが、どちらの保管期間が正しい要件になりますでしょうか。 ---以下記載内容--- 【要件定義書】4.15.4.1.ログ出力・蓄積・監視要件 ・ログの保管期間について、詳細は設計工程において確定するが、少なくとも不正監視に対するログ、及び重要情報に対するアクセスログは 5年間保持 するものとする。 【非機能要求グレード表】項番：B.1.3.1.保管期間 大項目：性能・拡張性 中項目：業務処理量 小項目：保管期間 小項目説明： システムが参照するデータのうち、OSやミドルウェアのログなどのシステム基盤が利用するデータに対する保管が必要な期間。必要に応じて、データの種別毎に定める。保管対象のデータを選択する際には、対象範囲についても決めておく。 本システム>選択レベル： 4（10年以上有期）	ログの保管期間はログ取得後少なくとも5年間とします。 期間を過ぎたものは、本システムがなくても汎用的に読み込むことができる形式としてください。
2	①入札説明書 P3 「5.入札書・提案書・入札資格確認書類の提出期限、提出書類及び提出先」 ②応札資料作成要領 P2 「3.2提案書様式②」	左記①の資料では「提案書・・・紙媒体7部、電子媒体1部」とありますが、資料②では「②提案書及び評価項目一覧はA4版カラーにて、全10部印刷し～」とあります。提出物数は以下の認識で相違はないでしょうか。 ・提案書：(紙媒体)10部+(電子媒体)1部 ・評価項目一覧：同上	提出物数については、以下のとおりお願いいたします。 ・提案書：(紙媒体)7部+(電子媒体)1部 ・評価項目一覧：同上
3	設計開発費用（詳細）	「工数・金額」列に「SE-A」と「SE-B」と記載がありますが、これはどういった違いでしょうか。 弊社側で考えている分け方は、「PM」「上級SE」「SE」「PG」としようと考えておりましたが、この分類方法でも問題はないでしょうか。	SEの中においても単価が異なるケースを想定して記載しているものとなります。 左記の分類方法で問題ありません。
4	入札仕様書 P7 「1-(6) 契約期間・契約形態」	「①設計開発業務」の契約は1本となるのでしょうか。もしくは、契約形態毎に下記の通り3回に分ける予定でしょうか。 1) 要件確認：準委任契約 2) 基本設計～総合テスト：請負契約 3) 受入テスト支援～移行・教育：準委任契約	契約締結までの調整事項ではありますが、1本の契約の中で、請負契約及び準委任契約を含むことを想定しています。

「容量市場の実需給期間に向けたシステム設計開発及び運用保守業務委託」に関する質問に対する回答

電力広域的運営推進機関

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質 問	回 答
5	要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	業務ファイルおよびDBデータ等の業務データの保管要件（保管期間等）をご教授願います。 データ毎に要件が異なる場合は、それぞれの保管要件をご教授頂ければと思います。	業務ファイルおよび業務データの保管期間は少なくとも5年間とします。 期間を過ぎたものは、本システムがなくても汎用的に読み込むことができる形式としてください。
6	要件定義書 別紙8 「全体システム概要図（案）」	既存システムのID・パスワード認証は、アプリケーションに作り込みでしょうか。それともクラウドサービスを利用されてますでしょうか（クラウドサービスを利用されている場合、サービス名も教えていただけますでしょうか）。	既存システムのID・パスワード認証は、アプリケーションに作り込んでいます。当該アプリケーション用に、ユーザ情報、パスワード管理、クライアント証明書情報のテーブル（DB）を所有しています。
7	要件定義書 別紙7 「業務プロセスと機能のマッピング表」- [BF2リクワイアメントアセスメント]-[リクワイアメントに対する評価（市場応札）（需給ひっ迫）] 要件定義書 別紙4 「主な画面一覧」	業務プロセスと機能のマッピング表では、BF221 プロセス02 発電方式の確認において、電源等情報一覧画面／電源等情報詳細画面が記載されています。 一方で、主な画面一覧には対象に上がっておりません。 これらの画面は開発スコープに入りますでしょうか。	マッピング表に記載されている電源等情報一覧画面／電源等情報詳細画面は、容量市場システム(実需給期間前)の画面を利用して参照するため本調達対象外です。
8	要件定義書 別紙2 「主要業務量一覧」	主要業務量一覧において、以下の記載があります。 No.3 変動電源アグリゲートのリソース件数 100,000 件／リスト No.4 発電指令電源のリソース件数 10,000 件／リスト 上記に関連するリストはそれぞれ何件になりますでしょうか。 (物理的なデータ量を測るためには、主要業務量一覧に記載頂いているデータ量にリスト件数を掛ける必要があると推察しております。)	No.3 変動電源のリスト数は、50件/年です。 No.4 発電指令電源のリスト数は、600件/年です。

「容量市場の実需給期間に向けたシステム設計開発及び運用保守業務委託」に関する質問に対する回答

電力広域的運営推進機関

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質 問	回 答
9	要件定義書 P13 「4.10.3.2.3.脆弱性検査」	<p>要件定義書 4.10.3.2.3.脆弱性検査に「・第三者による脆弱性検査（Web診断含む）を実施し、その結果を本機関に書面にて報告すること。」の記載があります。ここでの“第三者”について、確認させてください。</p> <p>ベンダ内部に設けられた検査部門（本システム構築には従事しない）ではなく、ベンダとは別企業による検査サービスを利用する必要がありますでしょうか。</p>	<p>同一企業内の検査部門ではなく、別法人の検査サービスをご利用ください。</p>
10	<p>要件定義書 P18 「4.14.教育に関する事項」</p> <p>入札仕様書 P.11 「4.(1) 作業の内容 項番2 設計開発業務」</p>	<p>要件定義書4.14の内容から、システム操作等の集合教育について、以下2種類が予定されており、貴機関が主体となって教育を実施するものと認識致しました。</p> <p>①貴機関職員向け（20名） ※貴機関内の運用ご担当者向け教育を想定 ②事業者向け（5,000名）</p> <p>一方で、入札仕様書P.11では「受託者は、利用者へのシステム操作に係る教育を実施すること。」との記載もございます。</p> <p>こちらの内容については、①の教育実施に向けて、プロジェクトに参画される貴機関ご担当者様向けにベンダからシステムの説明をさせていただくものと解釈いたしました。認識はあっていますでしょうか。</p>	<p>①の教育実施について、ご認識の通りです。</p>
11	<p>要件定義書 P16 「4.11.5.クライアント環境要件」</p>	<p>下記、容量市場システムマニュアルを拝見しましたところ、 「2章 容量市場システムについて」に【クライアント端末（画面解像度）】画面解像度は1366×768以上という記載がございました。</p> <p>https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/files/210210_youryou_manual_001.pdf</p> <p>容量市場の実需給期間に向けたシステムにおいても、上記を踏襲し、クライアント端末の画面解像度は1366×768以上という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通りクライアント端末の画面解像度は1366×768以上という認識で結構です。</p>

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質 問	回 答
12	要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	<p>非機能要件の災害対策において、以下の記載があります。 同一の構成でシステムを再構築（クラウドサービスの別サイトで再構築）</p> <p>F.2.4.1の地域的広がり項にて、選択されているレベルが国内の為、DRサイトも国内のリージョンを利用される認識です。 ただし、リージョン間で利用できるサービスが一部異なるケースがあり、完全な同一構成で再構築が難しい場合があります。 その場合、海外のリージョンの利用を選択肢としてご検討頂くことは可能でしょうか。</p>	<p>要件定義書4.11.1にて「情報資産を管理するデータセンタの物理的所在地が日本国内にあること」と記載の通り、海外リージョンの利用は想定していません。</p>
13	要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	<p>下記記載より、災害対策は本番環境を想定されていると見受けられるため、検証環境・研修環境にDRサイトは設置しない認識ですが、相違ないでしょうか。</p> <p>～ レベル2および4の同一の構成とは、復旧後も復旧前と同じサービスレベルを維持するため、本番環境と同一のシステム構成を必要とすることを意味する。</p> <p>～ また、DRサイトへのリモートバックアップも同様に行わない認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通り検証環境・研修環境にバックアップサイトは設置しない認識で結構です。 また、バックアップサイトは目標復旧水準を満たすようなファイル転送方式をご提案頂くことを想定しています。</p>
14	要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	<p>ペネトレーションテストについて、どのようなテストを実施される想定でしょうか。 (テスト内容（DoS攻撃や、フラッキング等）によっては、クラウドサービスのポリシーにより、実施が不可能な場合がございます。)</p>	<p>クラウドサービスとの責任共有モデルによりクラウド側のセキュリティに関するペネトレーションテストが実施できない場合、クラウド側における内部監査内容などをご確認していることを想定しています。 従いまして、クラウドサービス外の残りのセキュリティに関するペネトレーションテストを想定しています。例えば、IPAのWeb診断、OWASPの脆弱性診断などを想定しています。</p>

No.	仕様書等該当箇所 (ページ、項目等)	質 問	回 答
15	要件定義書 参考資料6 「IPA非機能要求グレード表」	A.3.2.1 外部保管データの備考に記載の「クラウドサービスとは別に外部で保管すること」との記載に関して、貴機関事務所のいずれかに保管すると認識致しました。認識に相違ありませんでしょうか。 また、外部保管先となる拠点（事務所）にクラウド環境と接続するNW機器はございますでしょうか。（本調達に当該機器を含める必要がございますか。）	外部保管場所について、弊機関事務所に保管することは想定していません。